

ETVのISO化に関する国際動向

1. IWG - ETVの最新動向

アメリカ、カナダが中心となり、ETV事業の国際連携・相互認証に向けた作業部会として、IWG - ETVが立ち上げられた。ETV事業を実施している、カナダ、欧州委員会、韓国、フィリピンがメンバー国であり、日本、米国、中国はオブザーバーとして参加している。

2013年11月1日にカナダのオタワで第10回IWG - ETVが開催されるとともに、2か月ごとに開催される電話会議で、ETVを実施する各国間での情報共有が行われている。

第10回IWG - ETVの概要は以下のとおり。

第10回IWG - ETV (2013年11月1日、カナダ・オタワ)

以下の議題の検討がなされた。メンバー国のフィリピン、カナダ、欧州委員会、韓国、フランス、ベルギー、オブザーバー国の日本が参加した。

(第10回IWG - ETVの検討議題)

将来的なETVの国際活動

IWG - ETVのロードマップ

ISO - ETVの最新動向

各国ETVの最新動向

2. ISO化の動向

環境技術実証事業(ETV)に係る提案書(NWIP)が2012年10月16日にISO事務局により正式に受理され、ISOのTechnical Committee207のSub Committee4(SC4)にてISO-ETVが検討されることとなった。11月8日に、ISO事務局からTechnical Committee207のSub Committee4のメンバー国に対し、提案に対する検討の賛否の照会がなされ、その結果、2013年2月8日に国際標準化機構(ISO)より、賛成多数で可決となったとの連絡があった。

その後、2013年5月にETVの国際標準化の草案を検討するための、各国から推薦される専門家より構成されるワーキンググループ(WG)が立ち上げられ、同WGの主査であるカナダよりワーキングドラフト(資料1-3-2参照)が配布された。また、同年6月に第1回WG、10月に第2回WG、平成26年1月に第3回WGが開催され、これに参加した。今後、平成26年5月に第4回が開催される予定となっている。

第1回、第2回、第3回ISO-WGの概要は以下のとおり。

第1回ISO-WG(2013年6月25日~26日、ポツワナ・ハボローネ)

第1回ISO-WGの検討議題、及びSC4に提出されたRecommendationは以下のとおり。日本及びWG主査のカナダのほか、米国、韓国、欧州諸国(フランス、ポーランド、英国等)、インド、タイ、中国等の国々が参加した。

(第1回ISO-WGの検討議題)

各国(アメリカ、EU、フランス、日本)のETVの紹介
ワーキングドラフトの内容についての議論
Conformity assessment(適合性評価)についての説明・議論
ISOにおける用語の定義についての説明・議論

(SC4に提出されたRecommendation)

第1回WGの議論を反映したワーキングドラフト0.1版を送付するので、それに対するコメントを9月15日までに提出する。

7月末までに、自国のETVスキームの詳細をセクレタリーに送付する。

各国メンバーは、次の会合までにISO 17020/ISO 17025/ISO 17065等の適合性評価に関係する規格についてレビューし、精通するようにする。

第2回会合は10月2週目にカナダで開催、第3回は1月末にパリ、第4回を次回のTC207パナマ総会で開催する。

適合性評価の要求事項を規格に含めるため、ISO/CASCO(適合性評価委員会)に共同主査(co-convenor)をお願いする。SC4に対し、ISO中央事務局(ISO/SC)に規格番号を"18634"から"14034"に変更するように申し出ることを要求する。

第2回 I S O - W G (2013 年 10 月 28 日 ~ 31 日、カナダ・オタワ)

第2回 I S O - W G の検討議題、及び W G として取りまとめられた Actions は以下のとおり。日本及び W G 主査のカナダ、共同主査の C A S C O のほか、韓国、欧州諸国（欧州委員会、フランス、ポーランド、スイス、ベルギー、デンマーク）等の国々が参加した。

(第2回 I S O - W G の検討議題)

E T V 制度の比較に基づく適合性評価に関する推奨事項の提示 (C A S C O)

environmental technology の定義についての各国コメントのレビューとドラフトの改訂

Scope (適用範囲) についての各国コメントのレビューとドラフトの改訂

ワーキングドラフトの Concept Diagram についての議論

適合性評価についての議論 (全体 + タスクグループ)

Overview of the ETV process (E T V プロセスの全体像) についての各国コメントのレビューとドラフトの改訂 (タスクグループ)

Process elements (E T V プロセスの要件) についての各国コメントのレビューとドラフトの改訂 (タスクグループ)

Terms and definitions (用語と定義) についての各国コメントのレビューとドラフトの改訂 (タスクグループ)

(W G として取りまとめられた Actions)

4 日間の会議中に議論した文書は、参加者に配布される。4 つのタスクグループが、テキスト編集のまとめを担当する。

タスクグループ	ドラフト担当箇所	参加国
T G 1	1 ~ 3	チームリーダー：欧州委員会 フランス、カナダ、ベルギー、スイス
T G 2	5 & 6	チームリーダー：ポーランド カナダ、スイス、日本
T G 3	Introduction	チームリーダー：日本 ポーランド、欧州委員会
T G 4	Diagram concept	チームリーダー：スイス 韓国、日本

遅くとも 11 月 20 日までに、ワーキングドラフト ver2 に統合するための上記 の寄与を事務局に送付する。

連結されたワーキングドラフト ver2 を、11 月 28 日から 12 月 28 日まで 1 ヶ月間、コメントのためにWGに回覧する。

一つだけの標準で適合性評価の要件に適用できるものとなるよう、C A S C OとS C 4メンバーに提言する。S C 4への提案は、公式に送付される前に、WG 5 へのコメントのために準備して配布される。

次回会合は、フランス・パリのA F N O Rで1月 27 日～30 日に開催する。事務局は invitation と議題を提供する。

第3回 I S O - W G (2014 年 1 月 27 日～30 日、フランス・サンドニ)

第3回 I S O - W Gの検討議題、及びWGとして取りまとめられた Actions は以下のとおり。日本及びWG主査のカナダ、ホスト国のフランスのほか、米国、韓国、欧州諸国(欧州委員会、ポーランド、スイス、デンマーク)等の国々が参加した。

(第3回 I S O - W Gの検討議題)

ワーキングドラフトにおけるE T Vのプロセスのフローチャートに関するプレゼンテーション(ポーランド)
各国コメントのレビューとドラフトの改訂
適合性評価についての議論

(WGとして取りまとめられた Actions【速報】)

現行のワーキングドラフト ver2 に対しての追加コメントは2月5日までとする。今次会議の議論を受けて、3月5日までにワーキングドラフト ver3 を配布する。コメント期間は、4月12日までとする。

次回会議は5月27日から29日にパナマにて開催する。

ガイダンスとなるアネックスの整理は、オーストラリア(David Moy)が対応する。